

誕生！かめやまB級グルメ“亀山みそ焼きうどん”

今、全国で“B級ご当地グルメ”をつかった地域おこしがブームとなっています。B級グルメとは、贅沢な食事ではなく、どんぶりやお好み焼きなどの安価でおいしい日常的な料理メニューのことです。B級グルメとして各地で売り出されているメニューの多くは、地元の人に愛されている地域の名物料理や郷土料理です。この近辺では、「四日市とんてき」と「津ぎょうざ」が名のりを上げています。

では亀山のB級グルメとは？

昨年から市民の有志が集まり、亀山のB級グルメづくりの取り組みを行ってきました。取り上げたメニューは、“みそ焼きうどん”です。

インターネットで当地のある焼肉屋さんの“みそ焼きうどん”が美味しいと何人かのブログで評判になっており、市内でもその店の味噌タレが美味しいので、それを買って家で焼きうどんをしている家族が何人かいることに気がつきました。その焼肉屋さんでは、特製の味噌で焼肉をしながら、ころあいを見てうどんの玉を入れて“みそ焼きうどん”にして食べることが一般的です。肉などの旨みにより一層味が豊かとなった味噌で焼いて食べるうどんは、真に店のメニューにはない究極の「隠れB級グルメ」です。そして、違うお店でも“みそ焼きうどん”は、裏メニューとして存在し、一部で人気がありました。

B活の会とは？

亀山の隠れた名物をより多くの皆さんに知っていただくこと、市民が立ち上がりました。その名も「隠れ名物 亀山みそ焼きうどん B級グルメ仕掛け活動の会」略して「B活の会」です。

先日、市内の飲食業組合の方々に協力して頂き、13店舗の皆さんと一緒に試作講習会を開きました。

“亀山みそ焼きうどん”は、うどんと野菜と肉を味噌で味つけし、フライパン等で焼くことが基本。各店舗が工夫し、それぞれ個性のある“亀山みそ焼きうどん”ができそうです。

今、話題の“亀山みそ焼きうどん”

昨年の秋に開催された亀山・商店街 in ARTや亀山城桜まつりの野外ブースで販売し好評でした。新聞やテレビ、ラジオと様々なメディアの取材も受け、話題になっています。市内の人はもちろん、東海道を散策に訪れる多くの皆さんが楽しめる日も近そうです。

皆さん！全国の知り合いに“亀山みそ焼きうどん”を大いに宣伝しよう！自信を持って薦めよう！





市民交流の日 レポート 7月21日(火) 19:30～21:30 市民協働センター「みらい」

テーマ：「亀山の公共交通のあり方を語ろう」

今後、避けては通れない地域社会の高齢化により、買い物や病院に通うための公共の交通機関の必要性が高まってきました。でもバス路線は赤字続き。そこでまずは事実を知ろうと地域生活交通を担当する市産業・観光振興室から説明を聞きました。

現状説明：バス事業者が、赤字バス路線を廃止できるようになった。しかし、赤字だからといって直ぐにバスを無くせないで、行政が代わりに運行を継続してきた。バスを走らせると、ざっと1路線年間1600万円かかり、現在年間で約1億円が市の負担となっている。財政と利用状況を見ながら定期的に検討組織(地域公共交通会議等)で話し合い、路線を見直している。当市は、人口の約66%が免許を持ち1世帯当たり約2台の車の保有がある。路線バスは、昔と比べ若い人も含めて全体の利用が少なくなった。

質問：車が増えたのが真の原因か？> 時期的にも一致していて、少なくとも大きな要因の一つだ。

質問：営業路線を市が取れないのか？> 営業路線も大半は赤字で路線によっては国と県が補助している。

質問：採算だけで見ていいのか？ 現在利用していない人のニーズを掘り下げていくことが必要では。

> 乗らない人からの要望もある。地域の人と一緒に考える方向を考えている。

低床バスが増えているのに市内バスはない> まずは「さわやか号」の低床化を予定している。



参加者からの声：

ここが問題

- ・井田川駅にバスが入っていないのが問題。
- ・バス停から駅までに坂があって高齢者には困難で使いにくい。末端の人、バスしか乗れない人の意見を聞かないと。
- ・当市には4つのJR駅がある。それがあまり利用されていない。
- ・駅への高校生の送り迎えが多い。バスの後ろを自家用車が追っかけていく。無駄だしおかしい。
- ・地域の人が何のために必要かを考えないといけない。通院か買い物か、何を目的にバスを使うのかを地域と話し合うことが必要。1ヶ月2回市民全部が乗れば赤字にならない。
- ・不便だからだけでなく若い人も含めて公共性を考える方向に向かわないと。
- ・高齢でいつまでもマイカーは乗れない。だから、将来が不安。バスに合わせて買い物もしなければならぬ。バスも利用しないと帰りが利用しにくい。
- ・せっかくバスを走らせても、「はじめだけでも乗るまいか」では3ヶ月も続かない。
- ・ダイヤを配っても関心がない人は見ない。

こうしたらどうか

- ・高齢者は、若いうちから外に出るようにしたい。歩くことが大切。歩く亀山にしていきたい。今の亀山には親切路線が走っていて、親切すぎ。
- ・買い物を大型店でするなど習慣を変える発想も必要。地域に店舗を呼び込むとか宅配を使うとか、需要があれば移動販売もビジネスになる。
- ・目標限定のバスを。必要なときに必要なバスができないか。
- ・地域で運転手を雇うとか、不通のときは地域で対応を決めるとか。
- ・自転車置き場などお客の立場に立ったバス停を考えたら。
- ・100円バス(市のバス)をもっと宣伝をしないとけない。



8月21日(金)のテーマ：「平和について語ろう」...戦争のない世の中を...

19時30分～21時30分です。

～ 輪を広げましょう！どなたでも自由に気軽に参加できます ～

あなたもぜひ、一度のぞいてみませんか？ (^o^)



9 / 5

第6回「峰の月」誕生の地邦楽演奏会 開催のお知らせ



「峰の月」は、尺八都山流の流祖である中尾都山が、戦後（1946年7月）鈴鹿郡加太村（現：亀山市加太梶ヶ坂）に清遊に来たとき、名峰「錫杖ヶ岳」より十四夜の月のいづる情景を眺め作曲されました。今回は、会場を国民宿舎 関ロッジの屋上で、錫杖ヶ岳を正面に東の「伊勢の海」より昇る月を愛でながら邦楽を演奏します。

なお、この演奏会は「三重県文化振興基金活用事業補助金」の交付を受けています。

「峰の月」誕生の地邦楽演奏会 実行委員長の林 信吾さんは、「加太では全5回の開催で知ってもらったが、県内外そして関ロッジに宿泊の皆さんにも聞いていただきたい」と希望しています。

と き：9月5日（土）午後5時開演
ところ：国民宿舎「関ロッジ」
入 場：無 料 * 申込み不要。

連絡先：国民宿舎「関ロッジ」TEL 96-0029

8/23・24 三本松地蔵まつり 開催のお知らせ

と き：8月23日(日)・24(月) 午後6時～9時30分

ところ：浄源寺の境内（本町4丁目）

- 内 容：
- ・「造り物」の展示
 - ・盆踊り、ソーラン踊り
 - ・夜店（金魚すくい、亀山みそ焼きうどん、みたらし、やきそば、ポップコーン、わたがし、かき氷などの販売）
 - ・口笛演奏会、映話ひととき会による映画上映（23日のみ）
 - ・和太鼓演奏（24日のみ）

連絡先：三本松を元気にする会 TEL 090-3300-0314（鈴木）

<造り物>

8 / 23 人形劇 開催のお知らせ

こわ～い!? おばけたちが、おじさんを怖がらせるはずが...あれ? おかしなことになっちゃった!
親子で観てみませんか?

と き：8月23日(日) 開場：午後3時30分（開演：午後4時）

ところ：青少年研修センター 1階 集会室

内 容：人形劇ポポロ「ばけものづかい」

入場料：4歳以上お一人1,500円（3歳未満は無料）

連絡先：亀山こども劇場 TEL 83-3534



11/1～7 再びアートのまちが出現!

今年も東町商店街を中心にアートのまちが出現します。

テーマは、「**天空のまちでアートとアソブ**」。

初日の11月1日には、歩行者天国も予定しています。

その他に、今までにない企画をただいま準備中です。

お楽しみに

連絡先：亀山・商店街 in ART2009 TEL 82-0410（伊藤）





あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などの代表者の方に、市民活動を始めたきっかけやこれから活動を始めの方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今回は、市民活動ニュース第100号を記念して、12年の永きにわたり活動を続けている「亀山元気の会」の2人をご紹介します。

平成11年3月、市ボランティア連絡協議会の情報誌による公募や口コミで集まった定年退職後の男性が中心となり「亀山元気の会」を発足しました。会の名前は、何はなくとも「元気」だけとの意気込みから決まりました。当初の会員は、電気工事や大工など様々な職歴を持つ9人でしたが、現在は45人います。美化作業やイベントの会場設営などの仕事をボランティアで行って、社会貢献活動をしています。

横山 瑛江子 さん

当会の会長です。

「みなさ～んいつもお疲れさまで～す」と細かい配慮と心配りをしてくださるリーダーです。

当会以外に、子どもの生活リズム向上のため協力支援を行う「亀山生涯学習インストラクター「ミナビィー」の会」や、昔ながらのわらべうたを取り入れ、遊びながらふるさとと心を伝え異年齢の友だちや親子、高齢者との交流を図る「亀山わらべうたあそびの会」など様々な会に所属し、積極的に活動されています。



大木 功さん

当会の事務局長です。

会員の安全と健康に常に気遣いをしてくださり、全員への連絡などをして頂いています。

全イベントに積極的に参加し、自ら率先して働かれています。

また、会員みんなの意見を聞いて、うまくまとめて頂いています。



活動の思い出写真



平成13年 清和荘納涼祭



平成14年 清和荘さくら祭



平成15年 清和荘の清掃作業



平成15年 バーベキュー会



平成18年 大蔵寺花見





平成19年 伊勢旅行



平成21年 医療センター花壇手入れ



平成21年 亀山医療センター院長を囲んで



平成21年 医療センターで市長を囲んで

当会の発足者(故 藤本 伸夫 さん)のモットーである“自由に自分の意思で楽しく行うボランティア精神”をみんなで受け継いでいます。

平成21年の今後の活動予定

- 9月 「医療センター」で除草作業
- 9月 「清和の里」で除草作業
- 10月 「あいあい祭り」に参加・作業協力
- 10月 「清和の里」で除草作業
- 11月 「医療センター」で花植えと除草作業
- 11月 「清和の里」で除草作業

この他、亀山城桜まつりや納涼会、災害支援などの清掃や各種イベントの支援等の作業を年に30回程行っています。

市民のみなさんに「ありがとう」「お疲れ様」と嬉しいお言葉をいただいています。

私たちと一緒にボランティア活動やレクリエーションで、仲間作りをしてみませんか。都合の良い時だけの参加で結構です。入会をお待ちしております。

(広報担当 渡邊)

問合せ先: 大木 TEL 82-4571

「亀山元気の会」プロフィール

活動地域: 市内
 会員数: 45人(男 14人 女 31人)
 会費: なし

活動の目的: 余裕のある時間を地域のために役立たせたい。友達の輪を広げたい。
 今後の目標: 会員数60名を目指し大勢の人達と手をつなぎ、活動のフィールドを広げたい。

今後も、様々な市民活動をしてみえる人達をこのコーナーで紹介していきます。私の活動を紹介して欲しいと思われる方や紹介したい人がみえる方は、ご連絡ください。お待ちしております。

連絡先: みらい TEL 84-5800 または 市民相談・協働推進室 TEL 84-5008



第100号の記念ページ

2001年4月から発行されている「市民活動ニュース」は、この号で第100号となりました。この8年間、いろいろな市民活動を報じてきました。これまでの「市民活動ニュース」は、下記の手順でインターネットで見れます。どうぞご覧ください。

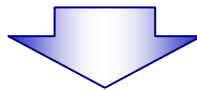
「市民活動ニュース」は、皆様の投稿によって作っています。また、きらめきメーリングリストに登録してある市民の皆様の協力により、各自治会への回覧仕分け作業等が行われています。

今後も毎月発行を続けていきますので、皆様のご協力よろしくお願いたします。

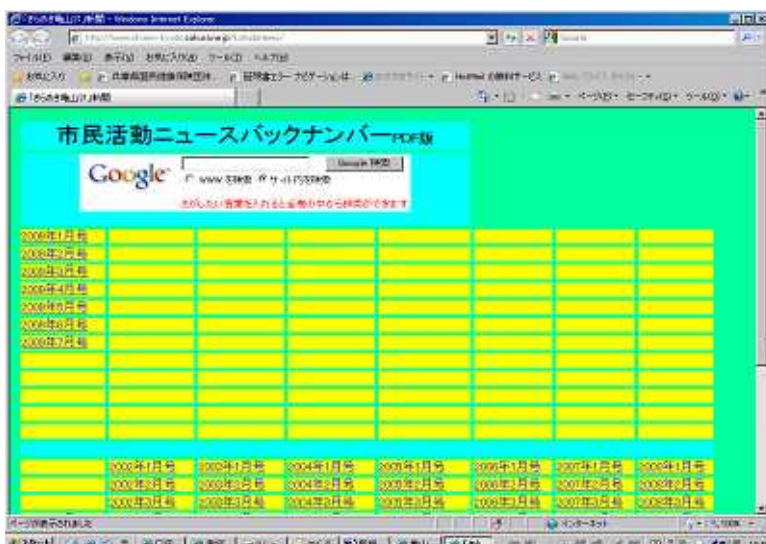
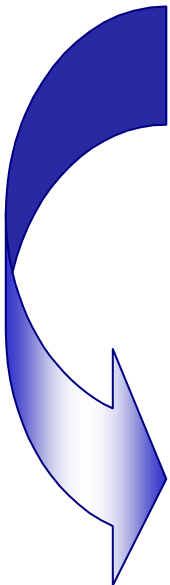
「市民活動ニュース」閲覧手順

ヤフー グーグル

インターネットのYahooやGoogleでキーワード「亀山市市民協働センター」で検索をします。(または <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/katudonews/> を入力)



ここをクリック



2001年4月の創刊号から、今回の第100号までを掲載。



7月イベントからのレポート



市民活動講座「モクモクの奇跡 モクモクの挑戦！」

今では全国的に知られるようになったブランド「伊賀の里 モクモク手づくりファーム」の発起人で、経済産業省の「地域おこしに燃える人」を受賞された木村 修さんの講演が、7月18日(土)「みらい」で開催されました。50名の皆さんで会場は満員となりました。

木村氏は農協に勤務していた時に、消費者のことをあまり考えていない生産業者や販売業者に出会い、価格が少々高くても美味しさと安全の追求といった消費者の側になっての生産や流通システムについて考えたそうです。最初は、なかなか軌道に乗らず苦労したこともありましたが、

ある幼稚園からウインナ 作りの体験教室を開いて欲しいと依頼を受け、実施してみたところ大好評でした。そこで、モクモクの想いを聞いてもらうことができ、商品が飛ぶように売れたということです。このことから、体験教室を通してモクモクの想いを知ってもらい、体験者を会員にすることで、永遠の顧客を確保していこうという取り組みを始めました。

消費者の立場になって考え、良い物を作れば、地元で話題になり、いずれはブランドとして定着するということでした。

自らの実体験に基づいて本音のままに語る木村氏の姿に、時間の過ぎるのも感じませんでした。

亀山国際交流会 (KIFA) 主催の外国人とのミニ防災訓練

7月19日(日)、主にブラジル系の人が多い井尻高塚のアパート前の広場で、外国人を対象としたミニ防災訓練に参加しました。

まず地震が起きたと想定して、大切なものを10分以内に持ってくるというゲーム感覚で始まり、参加者はパスポートを入れたバッグや水のボトル、お孫さんや子どもさんを連れて出てきました。

大地震の時にはブロック塀も倒壊しているかもしれないので、狭い道を避けるようにと説明され、この地域の避難所に指定されている東小学校に歩いて行きました。小学校では、市の作成した外国語版の防災マニュアルが配布され、あったら便利なラップやゴミ袋を災害時にどう使うかの紹介がありました。ラップは、包帯にもなるし食器の上にかぶせば洗わなくても何度でも使えます。ゴミ袋は、穴を開ければ簡単な防寒着になります。

地震は、いつ来るのかは誰にも分かりませんが、この地域はいつ来てもおかしくありません。ですからいつ起きても良いように備えることが必要です。特に、家族がいつも家にいるとは限らないので、家族で良く話し合って、地震時の連絡方法や集まる場所を決めておくことが大切だと再確認しました。

市内には他にも外国人の多い地域があります。KIFAでは、これからも日本人より受け取れる情報が少ないと思われる外国人が多く住む地域でのミニ訓練を展開していくそうです。(レポーター 伊藤 幸一)



8 / 26

第10回市民交流会 実行委員の募集

市民でまちを良くしていくにはどうしたら良いかを話し合う場(市民交流会)を企画する実行委員会が始まりました。多くの人の参加を呼びかけ、盛大に開催するために仲間を募集しています。

来年2月14日に開催予定の記念すべき第10回市民交流会の企画をあなたも一緒にしてみませんか。仲間をつくりたいと思っている人や市民活動に興味のある人には、ぴったりです。

下記の実行委員会に行きますので、ぜひご参加ください。

一緒に今までにない企画を考えましょう!

と き: 8月26日(水)午後7時30分～9時30分

と ころ: 市民協働センター「みらい」1階多目的ホール

連絡先: 市民相談・協働推進室 TEL 84-5008





8 / 25 市民活動スキルアップ講座 開催のお知らせ

市内で市民活動をされている方や市民活動に興味のある方々を対象に、組織が自立していくためや個人のスキルを高めるための講座を開催します。第2回目は、市民活動の課題の解決方法などを学びます。

- と き：第2回 8月25日(火) 19:30～21:30 ミッション(使命・目的)と発展に関する課題と解決方法
- 第3回 9月14日(月) 19:30～21:30 資金に関する課題と解決方法
- 第4回 10月3日(土) 13:30～15:30 行政との協働に関する課題と解決方法
- 第5回 10月17日(土) 13:30～15:30 他のNPOとの協働に関する課題と解決方法

ところ：いずれも 市民協働センター「みらい」

講師：NPO法人 市民社会研究所代表・四日市大学 総合政策学部長 松井 真理子 氏ほか

参加費：無 料 * 申込み不要。1回だけの参加もできます。

連絡先：みらい TEL 84-5800 または 市民相談・協働推進室 TEL 84-5008



8 / 29 市民活動講座「パリティタウンへの第一歩」開催のお知らせ

車椅子使用者の方と健常者が手と手を取り、お話をしながら楽しく踊る「車椅子レクダンス」をご存知ですか？
車椅子レクダンス普及会創設者の黒木氏をお招きし、自身の活動を通して見えてくる福祉環境や人とひとのつながりについてご講演いただきます。お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

と き：8月29日(土) 午後1時30分～3時30分

ところ：市民協働センター「みらい」1階多目的ホール

講師：NPO法人 車椅子レクダンス普及会 理事長 黒木 実馬 氏

参加費：無 料 * 申込み不要。

連絡先：みらい TEL 84-5800 または 市民相談・協働推進室 TEL 84-5008



9 / 19 市民活動講座「写真家 浅田 政志“ふるさとと私”」開催のお知らせ

今年、優れた作品を発表した新人写真家に贈られる木村伊兵衛写真賞を受賞し、話題となっている三重県出身の浅田政志氏を招いての講演会を行います。写真撮影活動を始めたきっかけや、上京してからも三重県で家族を題材に撮影活動をしているの話を聞いてみませんか。



と き：9月19日(土) 午後1時30分～3時30分

ところ：市民協働センター「みらい」1階多目的ホール

講師：写真家 浅田 政志 氏

参加費：無 料

* 申込み不要。ただし、託児希望の場合は、9月4日までにお申込みください。

(200円/人)

連絡先：みらい TEL 84-5800 または 市民相談・協働推進室 TEL 84-5008

市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談・協働推進室 (Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email : shimin@city.kameyama.mie.jp)
又は、市民協働センター「みらい」(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email : mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp
東町一丁目8番7号)までご連絡ください。

編集作成：「きらめき亀山21」広報部(問合せ先：亀山市市民部市民相談・協働推進室〒519-0195三重県亀山市本丸町577番地)
市民活動ニュース配置場所：毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり関係センター・青少年研修センター・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・オアシス館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)
ホームページ <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/kiyakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>
「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。